

プロトコール番号

乳癌 3週毎 エピルビシン+シクロfosファミド (EC)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		エピルビシン: 総投与量800 ~900mg/m2まで
①	エピルビシン 生食 50mL	80~90mg/m2	Day1	15分	
②	シクロfosファミド 生食 100mL	500~600mg/m2	Day1	30分	

プロトコール番号

乳癌 3週毎 フルオロウラシル+エピルビシン+シクロfosファミド (FEC)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		エピルビシン:総投与量800 ~900mg/m2まで
①	エピルビシン 生食 50mL	100mg/m2	Day1	15分	
②	シクロfosファミド 生食 100mL	500mg/m2	Day1	30分	
③	フルオロウラシル 生食 50mL	500mg/m2	Day1	15分	

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ドセタキセル+シクロfosファミド (TC)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ドセタキセル	75mg/m ²	Day1	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				
②	シクロfosファミド	600mg/m ²	Day1	30分	
	生食 100mL				

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ドセタキセル+シクロfosファミド+トラスツズマブ (TC+HER)療法					催吐リスク 高度	
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1			
①	ドセタキセル 5%ブドウ糖液 250mL	75mg/m ²	Day1	1時間		
②	シクロfosファミド 生食 100mL	600mg/m ²	Day1	30分		
③	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照		
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。						

プロトコール番号

乳癌 12週 パクリタキセル (PTX)療法					催吐リスク
投与プロトコール:1クール84日間					軽度
ルート	輸液	投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	1週毎12クール		Day1、8、15、22、29、36、43、50、57、64、71、78
①	パクリタキセル	80mg/m ²	1週毎12クール	2時間 下記参照	
	5%ブドウ糖液 250mL				
◆パクリタキセルは初回2時間かけて滴下。問題なければ2回目以降は 1時間に時間短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 12週 パクリタキセル+トラスツズマブ (PTX+HER)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール84日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	1週毎12クール		Day1、8、15、22、29、36、43、50、57、64、71、78
①	パクリタキセル 5%ブドウ糖液 250mL	80mg/m ²	1週毎12クール	2時間 下記参照	
②	トラスツズマブ 生食250mL	初回4mg/kg 2回目2mg/kg	1週毎12クール	2時間	
◆パクリタキセルは初回2時間かけて滴下。問題なければ2回目以降は 1時間に時間短縮可能。 ◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ドセタキセル+トラスツズマブ (DOC+HER)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ドセタキセル 5%ブドウ糖液 250mL	75mg/m ²	Day1	1時間	
②	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

乳癌 1週毎 トラスツズマブ(weeklyHER)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコル:1クール7日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	トラスツズマブ	初回 4mg/kg 2回目 2mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 トラスツズマブ(3weekHER)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目 6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ドキソルビシン+シクロfosファミド (AC)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ドキソルビシン	60mg/m ²	Day1	15分	
	生食 50mL				
②	シクロfosファミド	600mg/m ²	Day1	30分	
	生食 100mL				

プロトコル番号

乳癌 3週毎 ドセタキセル (DOC)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ドセタキセル 5%ブドウ糖液 250mL	75mg/m ²	Day1	1時間	

プロトコール番号

乳癌 4週毎 ベバシズマブ+パクリタキセル (BV+PTX)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8、15		
①	ベバシズマブ	10mg/kg	Day1、15	使用上の 注意参照	
	生食100mL				
②	パクリタキセル	90mg/m ²	Day1、8、15	2時間 下記参照	
	5%ブドウ糖液 250mL				
<p>◆パクリタキセルは初回2時間かけて滴下。問題なければ2回目以降は 1時間に時間短縮可能。</p> <p>◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。</p>					

プロトコル番号

乳癌 3週毎 エリブリン (ERI)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	エリブリン	1.4mg/m ²	Day1、8	全開	
	生食50mL				

プロトコール番号

乳癌 3週毎 エリブリン+トラスツズマブ (ERI+3weekHER)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	エリブリン	1.4mg/m ²	Day1、8	全開	
	生食50mL				
②	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

乳癌 3週毎 エリブリン+トラスツズマブ (ERI+weeklyHER)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコル:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8、15		
①	エリブリン	1.4mg/m ²	Day1、8	全開	
	生食50mL				
②	トラスツズマブ	初回 4mg/kg 2回目2mg/kg	Day1、8、15	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 アブラキサン®(nab-PTX)療法					催吐リスク
投与プロトコール:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	アブラキサン 1バイアルあたり生食20mLで溶解し、空の点滴バックに注	260mg/m ²	Day1	30分	

プロトコル番号

乳癌 3週毎 ゲムシタビン(GEM)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	ゲムシタビン	1250mg/m ²	Day1、8	30分	
	生食100mL				

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ペルツズマブ+トラスツズマブ (PER+HER)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ペルツズマブ	初回 840mg 2回目420mg	Day1	1時間 下記参照	
	生食250mL				
②	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
◆ペルツズマブ、トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ペルツズマブ+トラスツズマブ+エリブリン (PER+HER+ERI)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	ペルツズマブ	初回 840mg 2回目420mg	Day1	1時間 下記参照	
	生食250mL				
②	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
③	エリブリン	1.4mg/m ²	Day1、8	全開	
	生食50mL				
◆ペルツズマブ、トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル (PER+HER+DTX)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ペルツズマブ	初回 840mg 2回目420mg	Day1	1時間 下記参照	
	生食250mL				
②	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
③	ドセタキセル	75mg/m ²	Day1	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				
◆ペルツズマブ、トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 トラスツズマブ エムタンシン(T-DM1)療法					催吐リスク
投与プロトコール:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	トラスツズマブ エムタンシン	3.6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食100mL				
◆トラスツズマブ エムタンシンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

乳癌 3週毎 ペルツズマブ+トラスツズマブ+パクリタキセル (PER+HER+weeklyPTX)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8、15		
①	ペルツズマブ	初回 840mg 2回目420mg	Day1	1時間 下記参照	
	生食250mL				
②	トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
③	パクリタキセル	80mg/m2	Day1、8、15	2時間 下記参照	
	5%ブドウ糖液 250mL				
<p>◆ペルツズマブ、トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。 ◆パクリタキセルは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は60分まで短縮可能。</p>					

プロトコル番号

乳癌 3週毎 ビノレルビン(VNR)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	ビノレルビン	25mg/m ²	Day1、8	全開	
	生食50mL				